



今月の記事

感染症を防ぐ

先月からの愛の園

支える人々Part II

リレーエッセイ

2～3月の予定



看護職員

岡本生子

感染症予防にご協力ください

感染症が心配される季節が続いています。ご家庭と愛の園での感染症対策のために、インフルエンザとノロウイルス感染症についてお伝えいたします。

季節性のインフルエンザは毎年12～3月に流行します。今季は流行の本格化が昨年よりも3～4週間程度早かったようです。インフルエンザウイルスは少しずつ変異しているため、ヒトは毎年感染します。主な感染原因は、会話、咳、くしゃみの時に口から飛んだ飛沫(しぶき)を吸い込み、その中にあるウイルスが気道の粘膜に付着する飛沫感染です。鼻や喉の粘膜が乾燥すると感染しやすくなります。症状としては突然の38度以上の発熱、筋肉痛、関節痛、鼻汁、咳などの風邪症状が見られます。発症の前日から発症後3～7日間はウイルスの排出が続くため、症状が消えても油断できません。予防のためには流行前のワクチン接種(10月下旬～12月中旬)、マスクの着

用、手洗い、うがいの励行、適度な換気が必要となります。湿度が50～60%の環境では感染力が落ちるため、適度な湿度を保つことが有効です。

ノロウイルスは、生ガキなど2枚貝を食べることにより起こる食中毒というイメージが強いですが、実際は感染した人の嘔吐物、排泄物からの感染と、これらが乾燥して浮遊したための空気感染が多くみられるため、感染症としての適切な対策と処理が必要となります。症状は微熱や腹痛の症状に始まり、激しい下痢や嘔吐が続きます。症状は2～3日程度で回復しますが、その後もウイルスの排出が続くため注意が必要で、消毒には次亜塩素酸ナトリウムの水溶液を用います。

感染症対策の基本は「手洗い」、「うがい」を徹底し、必要に応じて「マスク」を着用する標準的な予防策です。ご自身と入居者・ご家族を守るため励行をお願いいたします。



入居者ご家族からご寄贈いただいた1950年以前に製造されたと思われるカワイ製の64鍵ピアノ。修理と調律を終えて演奏ができるようになりました 2/8

先月からの愛の園 あんなこと、こんなこと



節分の行事。今年も愛の園に赤鬼と青鬼が来ました。入居者の皆さんと職員共に豆まきを楽しみましたよ。2/3



8ユニットでは春を告げる花々を飾っています。ネコヤナギの蕾が大きく膨らみ楽しませてくれています。 2/8



2ユニットでの新年会。今年は鍋を美味しくいただきました。美味しい料理に 会話が弾み笑顔が溢れます。1/18



7ユニット 誕生日会でのひとコマ。2月に誕生日を迎える入居者をご家族、職員共にお祝いました。 2/8



支える人々 Part II (7) 上富田町社協ボランティア



グラウンドに面して汚れがちな入居者個室の窓を掃除していただきました

愛の園には毎月第3金曜日に、上富田町社会福祉協議会に所属するボランティアの方々が来てくださり、入居者の方々との交流の他、玄関扉やガラス窓の掃除、洗濯物たたみなど様々なご支援をいただいています。

社協の担当職員の方に何うと、計213名の方々がボランティアとして登録・参加し、町内地区ごとのグループに分かれて、それぞれ担当する近隣の老人ホームや障がい者施設に訪問してボランティア活動を行っているそうです。

社会福祉を目的とする事業について定めた社会福祉法では、「地域福祉の推進」のため、地域の住民も事業者などと協力して地域福祉の推進に努めることと謳われています。福祉活動において地域住民によるボランティア活動は大切な役割を担っています。上富田町社会福祉協議会に集うボランティ

アの皆さんは「ボランティア活動を通して上富田町を暖かく思いやりのある町にしよう！」をテーマに活動されています。上富田町社協ボランティアの皆さんの益々のご活躍をお祈りいたします。



一人暮らしの高齢者は心身機能の衰えに伴い閉じこもりがちになり、社会参加の機会や人とのふれあいの機会が少なくなります。上富田町社会福祉協議会ではこうした孤立する状態をいくらかでも防ぎ、住み慣れた地域で共に支え合いながら、生きがいを持ち自立した生活を継続できるよう支援することを目的に、学生声かけ訪問・ハートフルチェック活動を行っています。この活動には熊野高校のサポーターズリーダー部員が参加して、異世代交流を通しての地域づくり、絆づくりを強めて地域の方々との繋がりを計っています。

介護職員

高井いづみ

リレーエッセイ(31) 「大好きな JYJ」



韓国への興味が様々に広がりました

私の趣味は韓国の JYJ という3人組の歌手の応援です。きっかけは、娘に強制的に彼らの DVD を見せられたからです。彼らを応援することで、今まで色々な経験をする事が出来ました。

まず、高所恐怖症の私は一生涯飛行機には乗るまいと心に決めていたのですが、彼らに会うためには韓国へ行くしかなかったので克服する事が出来ました。彼らがツイッターを始めたので、私もツイッターを始めてからは私と同じファン同士の友人が全国にできて、今では彼らのイベントやライブに行くことも、その友人達に会えることがもうひとつの楽しみとなっています。

昨年の12月にもライブがあり、横浜、岐阜、奈良、福井、大阪から来た友人、そして和歌山から参加した私が集まって、韓国料理のお店で打ち上げパーティーをしました。韓国人の友人も出て、韓国料理を教えてもらったりもしています。超方向音痴で有名な私ですが、1人で韓国に行けるようにもなりました。



今にして思えば、彼らのことをきっかけにして沢山の友人が出来たのも、沢山の経験が出来たのも、娘に強制的に見せられた「JYJ」の DVD のお陰だと感謝しています。

今回は、10ユニットの野田由美子さんです。よろしくお祈りいたします。

「キリストの愛を以って
互いに仕える」

社会福祉法人神愛会
特別養護老人ホーム愛の園

〒649-2103
和歌山県西牟婁郡上富田町
生馬 316-56
TEL (0739)47-1234
FAX (0739)47-4329
Email ainosono@shinai.or.jp

ホームページもご覧ください。
バックナンバーを掲載しています

<http://shinai.or.jp>

2～3月の愛の園

- 12(木) やまびこ会
- 15(日) 日曜礼拝(み言葉の礼拝)
- 17(火) ひまわり会
- 18(水) 手芸サークル
- 20(金) 社協ボランティア来園
- 22(日) 日曜礼拝(聖餐式)
- 24(火) マリア会
- 25(水) 歯科診療
- 28(金) 桜美林大学演劇サークル公演
ボランティアの集い

- 1(日) 日曜礼拝(み言葉の礼拝)
- 5(木) やまびこ会
- 8(日) 日曜礼拝(聖餐式)
- 10(火) マリア会

編集者から

とても残念なお知らせですが、愛の園で入居者の皆さんのための様々なボランティア活動を指導的に続けて来られた新谷慶さんが2/12にご病気のため急逝されました。

新谷さんは、毎週木曜日の音楽療法活動「やまびこ会」を指導していただき、他にも金曜日の喫茶ボランティア、クリスマス聖劇の指導と演奏、日曜礼拝のオルガン奏楽も長く続けてくださいました。医学博士、神学博士、唱歌歌手であり、俳句、短歌に親しみ、南方熊楠研究、コーラスグループ指導など、多彩な経歴と幅広い活動を熱心に行って最後まで自律した豊かな生活を過ごされました。これまでのご奉仕に感謝申し上げます、パラダイスでの魂の平安を心からお祈りいたします。(A)